

プログラム

13:00-13:10

開会挨拶

- WHO神戸センター 所長 サラ・ルイズ・バーバー (ビデオメッセージ 日本語字幕付)
- 兵庫県看護協会 会長 成田 康子

13:10-14:10

第1部：グローバルヘルスと看護

－The State of World's Nursing Reportから見える日本の看護人材の現状と課題－

国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局は、WHO神戸センターと協力して、2020年の世界保健デーに発行された「State of World's Nursing 2020 Report」の日本語版を作成した。このWHO報告書の内容をベースに、日本の看護人材の現状と課題について講演、パネルディスカッションを行う。

座長：

NCGM 国際医療協力局 人材開発部 広報情報課長 田村 豊光

13:10-13:15

ビデオメッセージ（日本語字幕付）

WHOチーフ・ナーシング・オフィサー エリザベス・イロ

13:15-13:25

講演：「The State of World's Nursing Reportの概要」

NCGM 国際医療協力局 看護師 駒形 朋子

13:25-13:45

講演：「いのち輝くすこやかな未来をつくる、看護職のはたらき」

参議院議員 元厚生労働副大臣 ^{たかがい} 高階 恵美子

13:45-14:10

パネルディスカッション

4名のパネリストによる討議

パネリスト：日本看護協会 常任理事 荒木 暁子

聖路加国際大学大学院 国際看護学 教授 大田 えりか

千葉大学医学部附属病院 次世代医療構想センター 特任研究員、

千葉大学大学院 医学薬学府 学生 櫻庭 唱子

NCGM国際医療協力局 駒形 朋子

14:10-14:20

休憩

14:20-15:50

第2部：新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応における看護の役割

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への看護職の対応について、医療機関、保健所、検疫所等から対応の実際を報告いただき、パンデミックによる健康危機管理状況下での看護の役割や今後の課題について検討する。

座長：

兵庫県立大学地域ケア開発研究所 教授 災害健康危機管理WHO協力センター センター長 増野 園恵

14:20-14:30

講演：「病院看護における感染対策と現場のチャレンジ」

兵庫県立尼崎総合医療センター 看護管理室 感染管理認定看護師 大迫 ひとみ

14:30-14:40

講演：「COVID-19パンデミック渦における看護管理 ～医療従事者の権利、役割、責任を果たすために～」

神戸大学医学部附属病院 看護部管理室 副看護部長 岡本 規子

14:40-14:50

講演：「検疫所の活動とCOVID-19 看護の視点から」

東京検疫所 検疫衛生課 看護師 鈴木 真奈美

14:50-15:00

講演：「保健所の活動とCOVID-19 保健師の視点から」

神戸市保健所 予防衛生課 担当係長 保健師 小寺 有美香

15:00-15:10

講演：「在宅看護におけるCOVID-19対応とその課題」

神戸市看護大学 在宅看護学 教授 片倉 直子

15:10-15:20

休憩

15:20-15:50

パネルディスカッション

第2部演者による討議

15:50-16:00

総括・閉会挨拶

- 総括：神戸市看護大学 学長 WHO神戸センター名誉顧問 南 裕子
- 閉会挨拶：WHO神戸センター医官 茅野 龍馬（司会進行）